


# 2022年8月期（第44期）決算

---

決算補足説明資料

2022年10月14日

 ユーピーアール株式会社

(証券コード7065 東証スタンダード市場)

やってみようupr

# *Social Sharing Supporter*

社会のインフラをシェアするUPR

「やってみようupr」をコーポレートメッセージにわくわく・楽しく挑戦する企業を目指しています。

木製パレットの製造業者として、山口県宇部市に創業し  
「パレットを通じ人々の生活を便利にすること」を事業原点として社業発展に励んでまいりました。

人手不足などの社会的課題や、DXの加速、そして生活様式の変化が著しいなか、  
「Social Sharing Supporter」としてステークホルダーの皆様とともに成長し、  
物流+IoTの力で“シェア”による豊かな社会インフラの構築を実現してまいります。

# 2022年8月期（第44期） 決算

## 決算補足説明資料



■ 会社概要	P. 3
■ 2022年8月期 決算説明	P. 4
■ 中期経営計画2025の進捗	P.14
■ 2023年8月期 業績予想	P.16
■ 参考資料	P.23

商号 ユーピーアール株式会社

設立 1979年3月

代表者 代表取締役 酒田 義矢

## 所在地

〒100-0011  
東京本社 東京都千代田区内幸町1-3-2 内幸町東急ビル12F  
TEL : 03-3593-1730 (代) FAX:03-3593-3020

〒755-0032  
宇部本社 山口県宇部市寿町3-5-26  
TEL : 0836-31-9020 (代) FAX:0836-31-9022

資本金 9,600万円

連結129億円 (2021年8月期)

売上高 単体125億円 (2021年8月期)

社員数 連結213名 (2021年8月期)

## 業務内容

- パレット・物流機器のレンタル及び販売事業
- 物流IoT事業
- アシストスーツ事業
- 海外事業
- ICT事業
- ビークルソリューション事業

## 拠点

デポ | 全国各地190ヶ所

## 営業拠点

国内 | 14拠点

札幌・仙台・関東・新潟・東京（第一・第二）・横浜  
名古屋・静岡・大阪・岡山・四国・山口・福岡・南九州

海外 | 5拠点

シンガポール・タイ（2拠点）・マレーシア・ベトナム



# 2022年8月期 決算説明

売上高

13,329百万円

経常利益

1,114百万円

EBITDA<sup>※</sup>

3,743百万円

## ■ 対前年同期比、増収増益

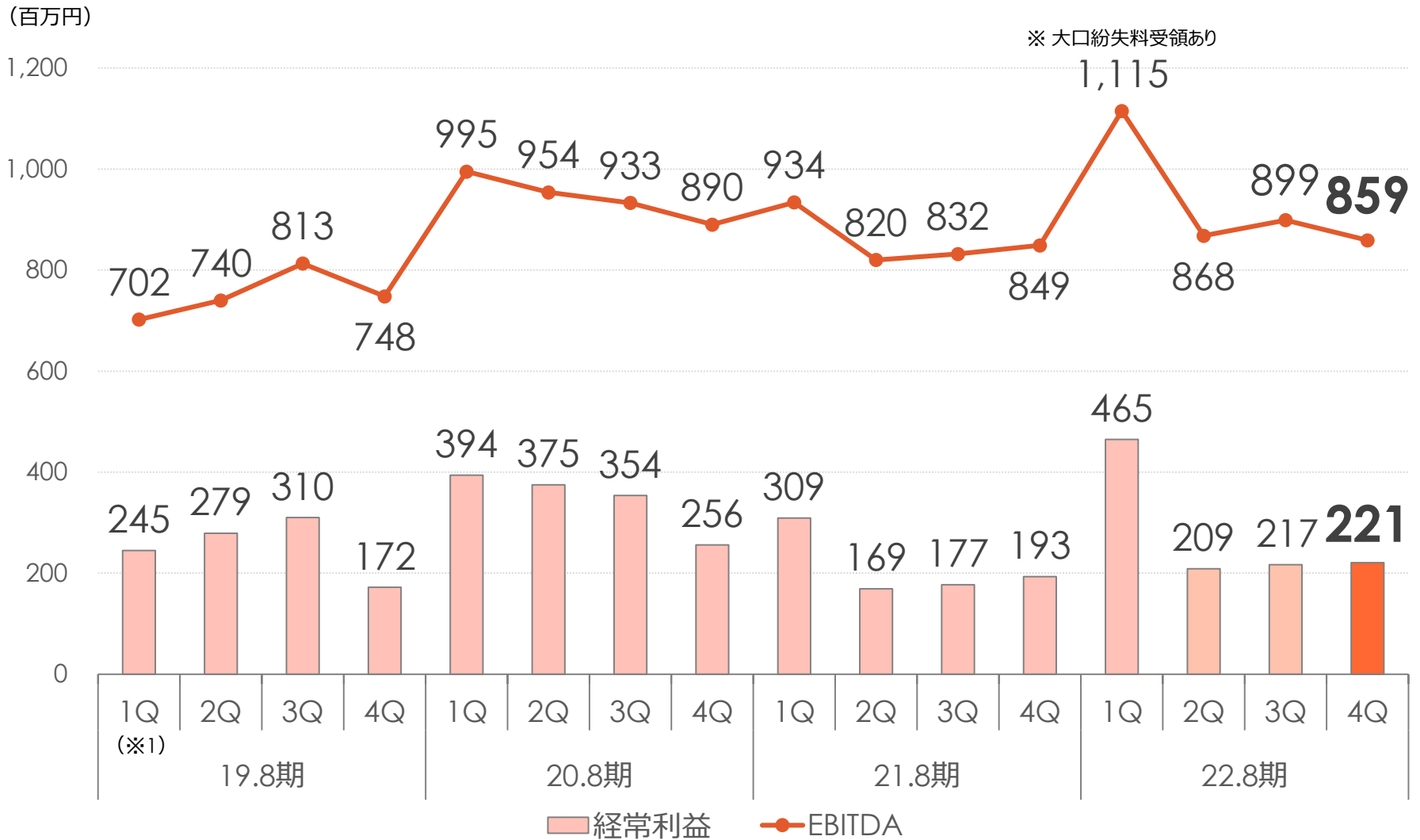
(増減率 売上高 : +3.1% 経常利益 : +31.1% EBITDA : +8.9%)

- レンタルパレットの稼働率は21.8期3Qに底を打ち、同4Qから回復基調。以降、前年同期比プラスで推移。新型コロナウイルス感染症、港湾地区におけるコンテナ不足、パレット紛失処理の影響等により、保管用パレット売上は22年8月期2Qまでは、前年同期比でマイナスとなっていたが、3Q以降、経済活動の回復やコンテナ不足が徐々に緩和され、プラス転換し、引続き回復。輸送用レンタルパレットは順調に推移。
- レンタル、物流IoTおよびICT事業において対前年同期比増収
- 1Qに大口のレンタルパレット紛失処理が発生し、営業外収益に想定を超える受取補償金計上

※EBITDA = 税引前当期利益 + 減価償却費 + 支払利息

対前年比	事業	トピックス
<b>増収</b>	<b>レンタル</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 港湾地区のコンテナ不足による影響も緩和され、保管用は回復基調</li> <li>■ 輸送用は引き続き好調に推移</li> <li>■ 海外事業は新規獲得が進み、タイを中心に伸長</li> </ul>
	<b>物流IoT</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 温湿度管理の需要を取り込み順調に伸長</li> <li>■ 3Qまでは半導体不足による新端末納入遅延があったが、4Qは徐々に緩和されてきており、新端末の入荷が進み始めた</li> </ul>
	<b>ICT</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 遠隔監視ソリューションが順調に推移</li> <li>■ 駐車場精算機向け遠隔監視ソリューションは顧客のビジネス拡張により伸長</li> <li>■ サービス売上（サブスクリプション売上）の積み上げは堅調</li> </ul>
<b>減収</b>	<b>販売</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 物流拠点投資は引き続き順調に推移するも、資材高騰による購入抑制の影響を受けた</li> </ul>
	<b>アシストスーツ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 累計販売台数2万台を突破</li> <li>■ 新型コロナウイルス感染症の状況は緩和されているものの、現場での最終トライアルにはまだ影響が残った</li> <li>■ 家電量販店に続く、その他量販店への拡販を図っている</li> </ul>
	<b>ビークルソリューション</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 車載器販売は予定台数を確保しているものの、半導体不足の影響で、顧客のカーシェアリング車両の納車遅延が続いており、計画を下回る</li> </ul>

# 経常利益及びEBITDAの推移（四半期毎）



※1 19.8期第1四半期の各数値は金融商品取引法に基づく公認会計士監査を受けた数値ではありません。



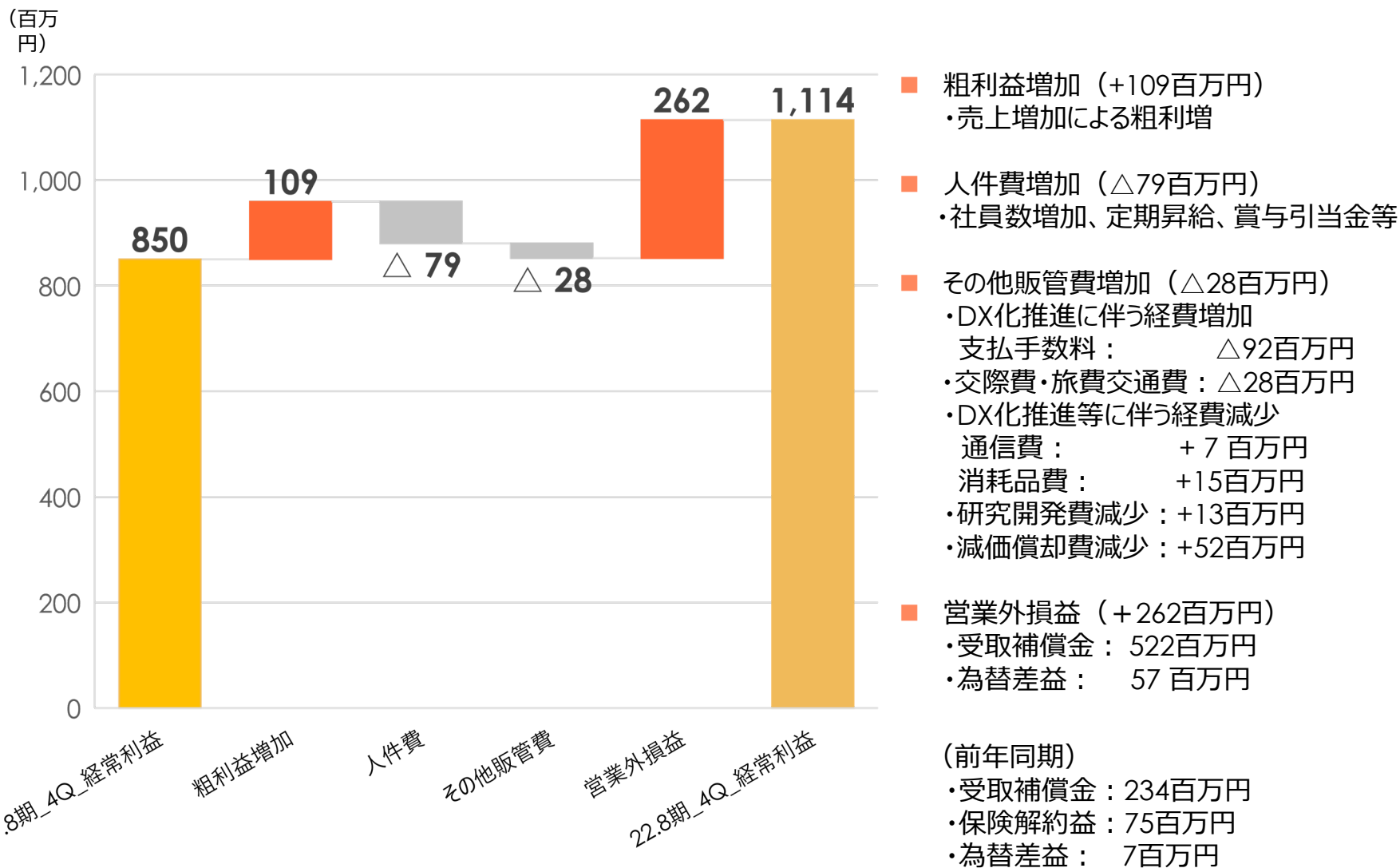
(単位：百万円)

		21.8期	22.8期 (修正業績予想)	22.8期	対前年同期比		対修正業績予想	
					増減額	増減率	増減額	達成率
物流事業	レンタル	8,335	8,659	<b>8,748</b>	412	5.0%	88	101.0%
	販売	3,080	3,108	<b>3,012</b>	△68	△2.2%	△96	96.9%
	アシストスーツ	174	140	<b>121</b>	△52	△30.3%	△19	86.5%
	物流IoT	399	433	<b>434</b>	35	8.8%	0	100.1%
	合計	11,990	12,343	<b>12,317</b>	326	2.7%	△27	99.8%
コネクティッド事業	ICT	490	572	<b>645</b>	154	31.5%	73	112.8%
	ビークルソリューション	446	384	<b>366</b>	△79	△17.8%	△17	95.4%
	合計	937	956	<b>1,012</b>	74	8.0%	56	105.8%
<b>全社合計</b> (うち海外)		<b>12,927</b> (504)	<b>13,300</b> (673)	<b>13,329</b> (765)	<b>401</b> (260)	<b>3.1%</b> (51.7%)	<b>29</b> (92)	<b>100.2%</b> (113.6%)

(単位：百万円)	21.8期	22.8期 (修正業績予想)	22.8期	対前年同期比		対修正業績予想比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	12,927	13,300	<b>13,329</b>	401	3.1%	29	0.2%
売上原価	8,944	9,190	<b>9,236</b>	292	3.3%	46	0.5%
売上総利益	3,982	4,110	<b>4,092</b>	109	2.7%	△17	△0.4%
売上総利益率	30.8%	30.9%	<b>30.7%</b>	△0.1pt	—	△0.2pt	—
販売費及び一般管理費	3,452	3,560	<b>3,560</b>	107	3.1%	0	0.0%
販管費率	26.7%	26.8%	<b>26.7%</b>	0.0pt	—	△0.1pt	—
営業利益	530	550	<b>532</b>	1	0.4%	△17	△3.3%
営業利益率	4.1%	4.1%	<b>4.0%</b>	△0.1pt	—	△0.1pt	—
経常利益	850	1,000	<b>1,114</b>	264	31.1%	114	11.5%
経常利益率	6.6%	7.5%	<b>8.4%</b>	1.8pt	—	0.9pt	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	561	630	<b>680</b>	119	21.3%	50	8.1%
親会社株主に帰属する当 期純利益率	4.3%	4.7%	<b>5.1%</b>	0.8pt	—	0.4pt	—
設備投資額	2,099	3,797	<b>2,834</b>	735	35.0%	△962	△25.4%
減価償却費	2,559	2,572	<b>2,623</b>	64	2.5%	51	2.0%
EBITDA	3,437	3,607	<b>3,743</b>	306	8.9%	136	3.8%
研究開発費	91	41	<b>78</b>	△13	△14.4%	37	91.5%

(単位：百万円)	21.8期	22.8期	増減額	コメント
流動資産	5,186	<b>5,951</b>	764	売上増による売掛債権 + 247、現預金の増加 + 444
現金及び預金	2,714	<b>3,158</b>	444	
固定資産	13,341	<b>13,646</b>	304	
レンタル資産 (純額)	9,603	<b>9,920</b>	316	パレットの購入増加
資産合計	18,528	<b>19,598</b>	1,069	
負債合計	11,312	<b>11,776</b>	464	買掛金 (パレット購入等) + 710 借入金△682、未払い法人税 + 224 他
株主資本	7,195	<b>7,777</b>	581	利益剰余金の増加
純資産	7,215	<b>7,821</b>	605	
負債・純資産合計	18,528	<b>19,598</b>	1,069	
自己資本比率 (%)	38.8%	<b>39.7%</b>	0.9pt	

	21.8期	22.8期	増減額	コメント
営業活動によるキャッシュフロー	2,906	<b>3,272</b>	366	
投資活動によるキャッシュフロー	△3,181	△ <b>2,100</b>	1,081	パレット購入タイミングの見直し、支払時期のずれにより
財務活動によるキャッシュフロー	△675	△ <b>781</b>	△106	借入金△682、配当金△99
現金及び現金同等物の増減額	△944	<b>429</b>	1,373	
現金及び現金同等物期末残高	2,714	<b>3,143</b>	429	



## レンタル

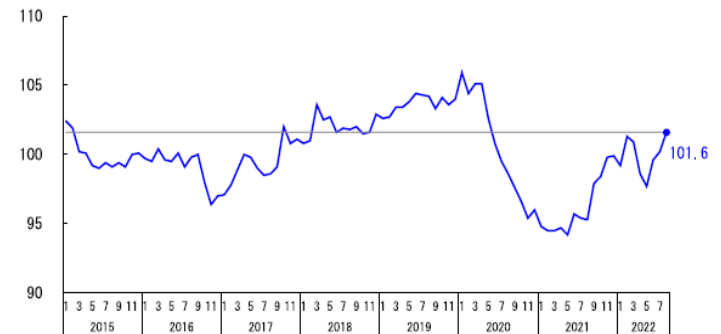
## 増収・回復基調

- 売上は前年同期比プラス5%
- 保管用パレットのレンタル売上  
既存取引先で回復基調。1Q発生の大口径レンタルパレット紛失の影響などにより、累計では2Qまではマイナスとなっていたが、3Q以降前年同期比プラス転換し、年間でもプラス転換  
【港湾地区】  
経済活動の回復とコンテナ不足の緩和から、徐々に回復
- 輸送用パレットのレンタル売上  
家庭紙・玄米・氷菓向けを中心に取扱量が拡大し、順調に推移。冷食のパレット輸送取扱も開始
- 新規未開拓業界へのアプローチは活動制限が緩和される中、少しずつ進捗
- 海外は新規顧客獲得などにより、引き続きタイを中心に順調に伸長中（構成比3.7%、前年同期比12%増）

鉱工業在庫指数の動向

・2022年8月の鉱工業在庫指数は、101.6(前月比1.4%)と3か月連続の上昇。

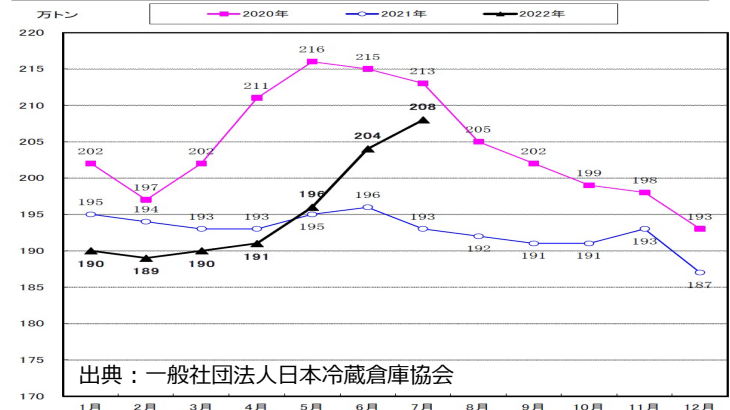
(2015年=100、季節調整済)



出典：経済産業省

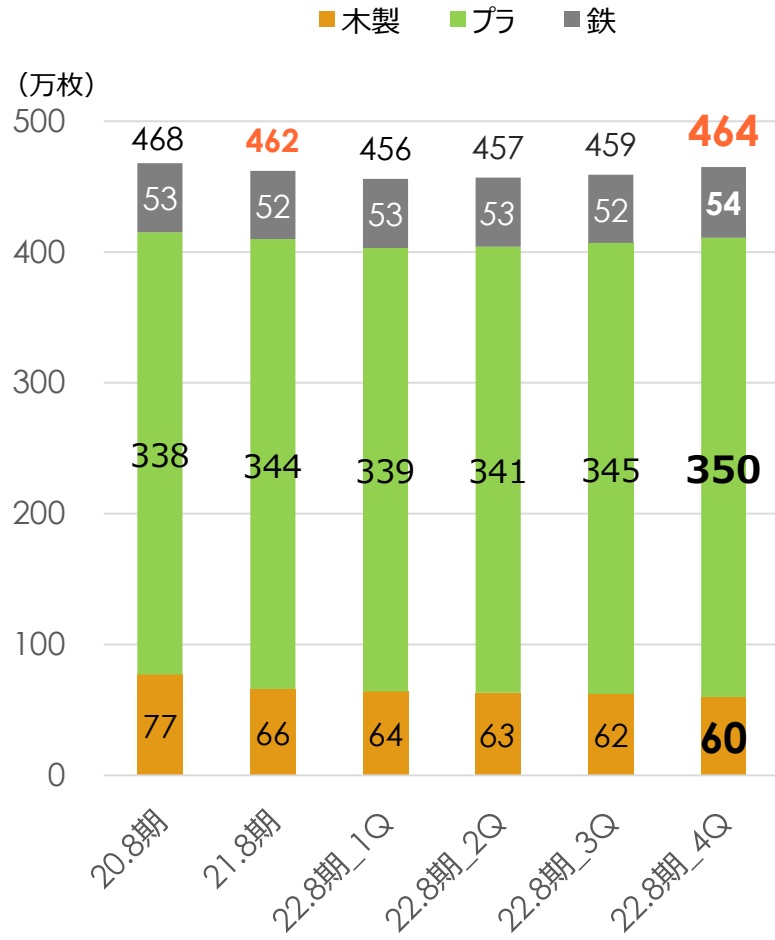
(月/年)

冷蔵倉庫主要12都市受寄物庫腹利用状況 月末在庫量

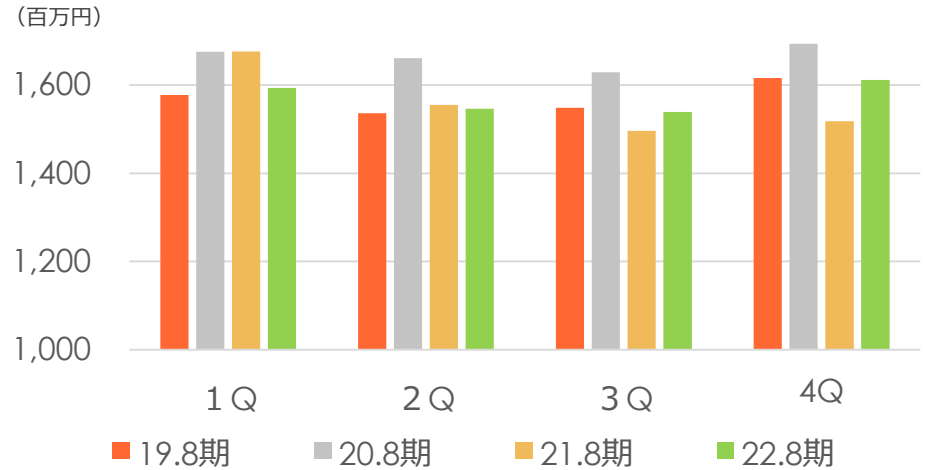


出典：一般社団法人日本冷蔵倉庫協会

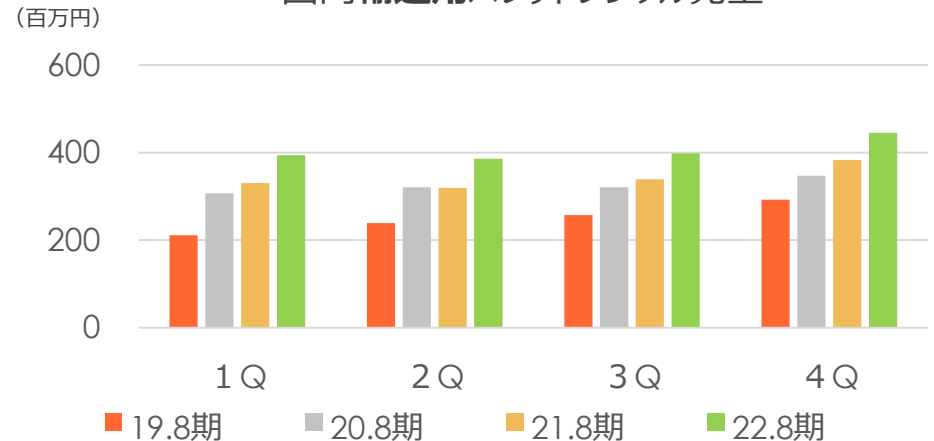
## 保有枚数推移



## 国内保管用パレットレンタル売上



## 国内輸送用パレットレンタル売上





# 中期経営計画2025の進捗

人的  
資本情熱あふれ真摯に  
チャレンジする人材

項目		22.8期 累計	中計 最終年度
<b>有資格者数</b>			
物流事業	ロジスティクス経営士	5名	5名
	物流技術管理士	2名増	10名増
コネクティッド事業	プロフェッショナル人材	2名	5名
<b>女性管理職</b>		3名	5名以上

製造  
資本レンタルパレット事業を支える  
製品とネットワーク

項目	22.8期累計	中計 最終年度
パレット保有枚数	464万枚	約700万枚
家庭紙用 保有枚数	13%増 (20.8期末対比)	100%増
レンタルパレット 年間平均稼働率	0.5%向上	5%向上
自社デポ新設数	0件	2件

知的  
資本新しい価値を創出する  
技術力と知財

項目	22.8期 累計	中計 最終年度
アクティブタグを活用した ソリューションの提供件数	15件	50件
特許等出願件数	15件	15件

社会関係  
資本

## 多様な顧客基盤

項目	22.8期累計	中計 最終年度
レンタル事業 顧客 数	2,930社	3,500社
輸送用売上比率	21%	25%
海外売上比率	2.7%	5%





# 2023年8月期 業績予想

## 【業績予想策定前提】

- 保管用パレットレンタルの回復に加え、物流の2024年問題まで対応期限が迫っており、各業界におけるパレチゼーション化が下期から徐々に本格化が見込まれ、輸送用レンタルパレットについても順調に伸長の見込
- 23年8月期は、パレットレンタル事業およびICT事業の伸長により、売上は増収を継続を見込むものの、ウクライナ問題や中国のゼロコロナ政策、インフレ率上昇による世界的金利上昇等、世界経済減速のリスクをはらんでおり、回復は一定にとどまると想定し、保守的に策定

## 【前期から増収経常減益となる理由】

営業利益については、売上増加による粗利の増加により増益となるものの、前期における大口の紛失補償は特殊要因であったこと、また以下の経費増加もあり、経常利益は減益を見込む。

- SFAの導入など社内DX化を推進、またHPの改修をによるお客様への訴求強化、レンタルシステムにかかるシステム改修やJPRとの「Xレンタルシステム」対応等の支払手数料が本格化
- 22年9月に開設したDXデポの設置費用、DXデポ賃料の増加等の費用発生
- DXタグについて、前期の実証実験から、今期正式取扱を行い、上期にその研究開発費を計上
- 社員数増加、定期昇給、賞与引当金等による人件費の増加
- 22年8月期第1四半期に、取引先のレンタルパレットの大口紛失処理が発生し、営業外収益として多額の受取補償金計上。通期において、今期の受取補償金見込は前期比▲約270百万円

## 【予想計数概要】

(単位：百万円)

	22.8期 2Q (実績)	23.8期 2Q (予想)	前期比		22.8期 通期 (実績)	23.8期 通期 (予想)	前期比	
			増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	6,429	<b>6,762</b>	332	5.2%	13,329	<b>14,000</b>	670	5.0%
営業利益	300	<b>320</b>	19	6.4%	532	<b>728</b>	196	36.8%
営業利益率	4.7%	<b>4.7%</b>	0pt	—	4.0%	<b>5.2%</b>	1.2pt	—
経常利益	674	<b>410</b>	△264	△39.2%	1,114	<b>950</b>	△164	△14.7%
経常利益率	10.5%	<b>6.1%</b>	△4.4pt	—	8.4%	<b>6.8%</b>	△1.6pt	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	422	<b>270</b>	△152	△36.0%	680	620	△60	△8.9%
1株当たり配当 (円)	—	—	—	—	13	<b>13</b>	±0	0.0%

- レンタルパレットについては、まだ新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの、保管用パレットの需要が回復。輸送用レンタルパレットは現在の取組拡大に加え、物流の2024年問題を目前に、需要は拡大すると想定。
- その他の次世代対応型事業については、アシストスーツ、ビークルソリューションについては横ばいを見込むが、一方で、物流IoT、ICTについて、お客様のニーズを取り込み、事業拡大を図る。

(単位：百万円)

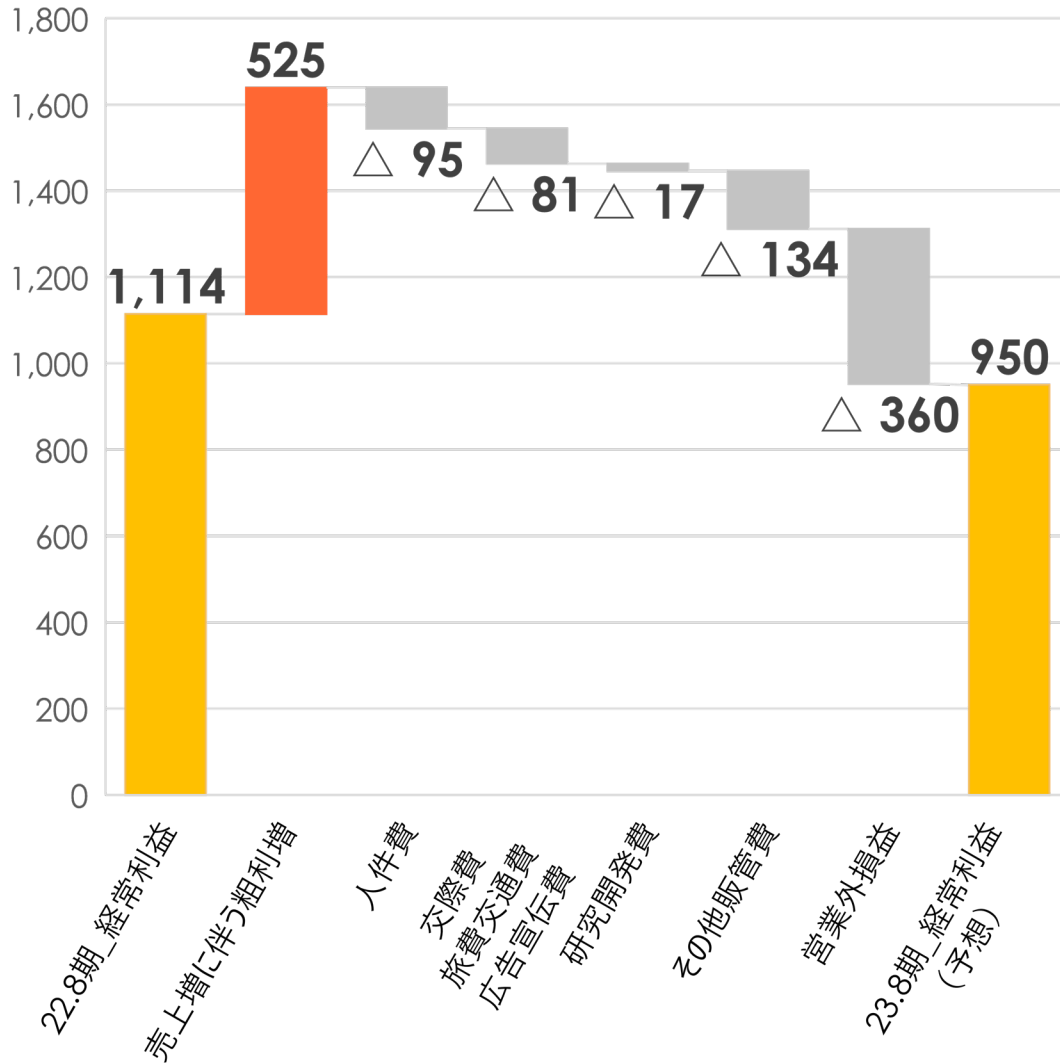
		22.8期_2Q (実績)	23.8期_2Q (予想)	対前年比		22.8期_通期 (実績)	23.8期_通期 (予想)	対前年比	
				増減額	増減率			増減額	増減率
物流事業	レンタル	4,304	<b>4,530</b>	226	5.3%	8,748	<b>9,178</b>	430	5.0%
	販売	1,396	<b>1,523</b>	127	9.1%	3,012	<b>3,115</b>	103	3.4%
	アシストスーツ	57	<b>52</b>	△5	-9.1%	121	<b>128</b>	7	5.8%
	物流IoT	217	<b>236</b>	18	8.7%	434	<b>487</b>	53	12.2%
	合計	5,975	<b>6,342</b>	367	6.1%	12,317	<b>12,908</b>	593	4.8%
コネクティッド事業	ICT	307	<b>295</b>	△12	△4.1%	645	<b>731</b>	86	13.3%
	ビークルソリューション	145	<b>124</b>	△21	△14.7%	366	<b>360</b>	△6	△1.6%
	合計	453	<b>419</b>	△34	△7.5%	1,012	<b>1,091</b>	79	7.8%
<b>全社合計</b> (うち海外)		<b>6,429</b> (333)	<b>6,762</b> (269)	<b>332</b> (△63)	<b>5.2%</b> (△19.1%)	<b>13,329</b> (765)	<b>14,000</b> (720)	<b>671</b> (△44)	<b>5.0%</b> (△5.8%)

# 損益計算書 (PL)

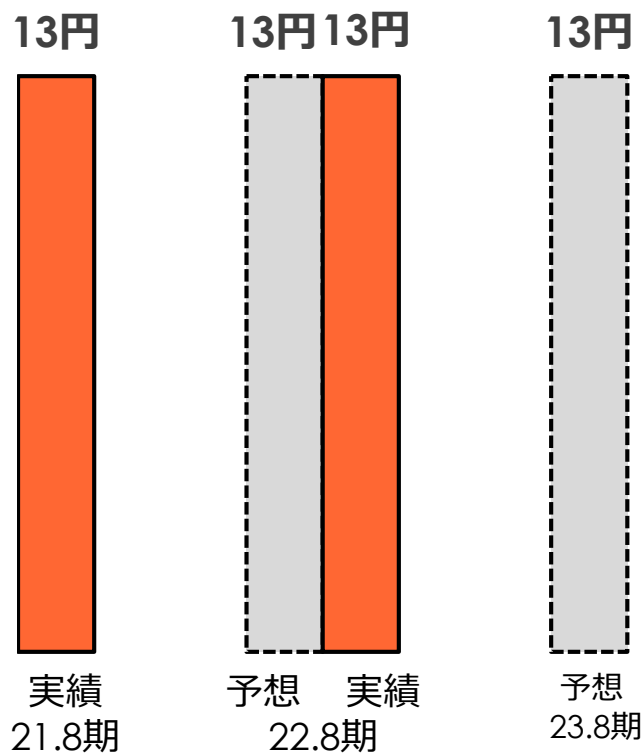


(単位：百万円)

	22.8期_2Q (実績)	23.8期_2Q (予想)	対前年比		22.8期_通期 (実績)	23.8期_通期 (予想)	対前年比	
			増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	6,429	<b>6,762</b>	332	5.2%	13,329	<b>14,000</b>	670	5.0%
売上原価	4,393	<b>4,531</b>	137	3.1%	9,236	<b>9,381</b>	144	1.6%
売上総利益	2,036	<b>2,231</b>	195	9.6%	4,092	<b>4,618</b>	525	12.9%
売上総利益率	31.7%	<b>33.0%</b>	1.3pt		30.7%	<b>33.0%</b>	2.3pt	
販売費及び一般管理費	1,735	<b>1,911</b>	175	10.1%	3,560	<b>3,890</b>	329	9.3%
販管費率	27.0%	<b>28.3%</b>	1.3pt		26.7%	<b>27.8%</b>	1.1pt	
営業利益	300	<b>320</b>	19	6.4%	532	<b>728</b>	196	36.8%
営業利益率	4.7%	<b>4.7%</b>	0pt		4.0%	<b>5.2%</b>	1.2pt	
経常利益	674	<b>410</b>	△264	△39.2%	1,114	<b>950</b>	△164	△14.7%
経常利益率	10.5%	<b>6.1%</b>	△4.4pt		8.4%	<b>6.8%</b>	△1.6pt	
当期純利益	422	<b>270</b>	△152	△36.0%	680	<b>620</b>	△60	△8.9%
当期純利益率	6.6%	<b>4.0%</b>	△2.6pt		5.1%	<b>4.4%</b>	△0.7pt	
設備投資額	1,141	<b>2,309</b>	1,167	102.3%	2,834	<b>4,820</b>	1,986	70.1%
減価償却費	1,295	<b>1,268</b>	△26	△2.1%	2,623	<b>2,550</b>	△73	△2.8%
EBITDA	1,984	<b>1,700</b>	△283	△14.3%	3,743	<b>3,543</b>	△199	△5.3%
研究開発費	25	<b>54</b>	28	115.7%	78	<b>96</b>	17	22.6%



- レンタル稼働率の回復による売上増加および売上利益率の改善を主因とし、対前年比粗利益増加 +525百万円
- 人件費増加 △95百万円  
社員数増加、定期昇給、賞与引当金等
- 交際費・旅費交通費  
通常の営業活動へのシフト
- その他販管費 △134百万円  
DX化推進に伴い、支払手数料 (△69百万円)  
DXデポにかかる地代家賃(32百万円)等が増加
- 営業外損益 △360百万円  
22.8期 582百万円  
(内 受取補償金：522百万円)  
23.8期 受取補償金他 265百万円



【基本方針】

- 親会社株主に帰属する当期純利益の10%程度を配当総額とする
- 対前期減配しないことを原則とする
  1. 2022年8月期の1株当たり配当金は13円
  2. 上記基本方針に則り、2023年8月期の1株当たり配当金も13円とする予定



参考資料





年月	対象事業	トピックス
2021年9月	全社	<a href="#">サステナビリティページ</a> リニューアル
2021年10月	全社	『新市場区分における「スタンダード市場」選択申請に関するお知らせ』発表
	全社	<a href="#">コーポレートブック</a> 作成
2021年11月	全社	「第5回日経スマートワーク経営調査」3星に認定
2021年12月	物流IoT	B to Bマッチングサービス「RenRen」全国展開を開始
2022年2月	レンタル・物流IoT	ロジスティクスソリューションフェア 2022出展@東京ビッグサイト
2022年3月	全社	「健康経営優良法人2022（大規模法人部門（ホワイト500））」に2年連続認定（経済産業省・日本健康会議共同選定）
2022年4月	コネクティッド	「DXタグ®」開発実証実験開始
2022年4月	全社	日本パレットレンタル株式会社とのレンタルシステム共同開発・運用に合意
2022年6月	物流IoT	「パレットファインダー™」を開発 住宅設備機器メーカーTOTO株式会社と実証実験
2022年6月	レンタル・物流IoT・AS・コネクティッド	第3回関西物流展出展
2022年7月	物流IoT	「なんつい」アルプスアルパイン端末をラインナップに追加
2022年9月	レンタル・物流IoT・AS・コネクティッド	「DXデボ™」が「GLP ALFALINK 相模原」内にオープン
2022年9月	レンタル・物流IoT・AS・コネクティッド	国際物流総合展2022出展@東京ビッグサイト

# 売上高詳細（四半期毎）



(単位 売上：百万円 増減率：%)

		20.8期								21.8期							
		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q	
		売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率
物流事業	以外	2,114	9.5	2,108	10.3	2,106	6.9	2,227	7.2	2,170	2.6	2,042	-3.1	2,018	-4.2	2,104	-5.5
	販売	665	8.9	637	4.9	737	7.0	753	27.8	697	4.8	713	12.0	969	31.4	700	-7.1
	AS	46	130.0	41	9.3	39	-19.9	22	-31.8	40	-14.0	40	-3.9	41	6.4	52	129.2
	物流IoT	80	-2.3	83	10.1	83	-3.3	94	13.3	88	10.0	94	13.2	109	30.3	106	12.9
	合計	2,908	9.9	2,871	9.1	2,966	6.2	3,098	11.3	2,997	3.1	2,890	0.7	3,138	5.8	2,963	-4.4
コネクテッド事業	ICT	82	54.3	95	15.2	100	-2.0	71	-13.6	111	34.4	97	1.8	145	45.1	136	92.3
	VS	136	31.7	125	31.3	132	-9.2	144	-3.3	108	-20.0	109	-12.2	117	-10.8	109	-24.0
	合計	218	39.4	220	23.8	232	-6.3	215	-7.0	220	0.6	206	-6.2	263	13.3	246	14.4
全社合計 (うち海外)		3,127 (152)	11.6 (26.1)	3,091 (100)	10.0 (-8.7)	3,199 (97)	5.1 (-1.6)	3,314 (126)	9.9 (9.7)	3,217 (128)	2.9 (-15.5)	3,097 (122)	0.2 (21.8)	3,401 (132)	6.3 (34.9)	3,210 (121)	-3.1 (-3.7)

AS = アシストスーツ VS = ピークルソリューション

※増減率は対前年同期比で計算しております

# 売上高詳細（四半期毎）



(単位 売上：百万円 増減率：%)

		22.8期							
		1 Q		2 Q		3 Q		4 Q	
		売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率	売上	増減率
物流事業	以外	2,172	0.1	2,132	4.4	2,153	6.7	2,290	8.8
	販売	744	6.7	651	-8.7	876	-9.5	739	-5.6
	AS	28	-29.9	29	-27.4	38	-6.9	25.4	-51.4
	物流IoT	106	19.5	111	17.9	118	8.2	98.5	-7.4
	合計	3,051	1.8	2,924	1.2	3,186	1.5	3,154	-6.4
コネクテッド事業	ICT	163	46.9	144	48.4	196	34.7	141	3.4
	VS	87	-19.8	58	-46.7	108	-8.0	112	2.6
	合計	250	14.0	202	-2.1	304	15.6	254	3.0
全社合計 (うち海外)		3,302 (154)	2.6 (20.3)	3,127 (178)	1.0 (46.0)	3,491 (195)	2.6 (48.1)	3,408 (431)	6.2 (226)

AS = アシストスーツ VS = ビークルソリューション

※増減率は対前年同期比で計算しております

## 【免責事項】

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や安全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは安全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって大きく差異が発生する可能性があります。なお、当社は新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料は、投資勧誘目的で作成されたものではありません。

実際に投資を行う際は、本資料を全面的に依拠した投資判断を下すことはお控えください。

いかなる目的でも、本資料の一部または全部を、無断で転載、二次利用することをご遠慮ください。